

## 手話の出前講座を開催します 随時受け付けています

職場での研修や、地域や児童クラブなど様々な集まりの場で、ぜひご活用ください。5人以上のグループであればOK! 耳の聞こえない人に対する理解や簡単な手話など、日程や内容はご要望に応じます。また、障がい者差別解消法の概要や事例などを加えることもできます。ご連絡お待ちしております。

## 手話のミニ講座(初心者向け)を開催します

「手話ってどういうもの?」「手話は初心者だけど、少しやってみたい」と思っている人、以前手話を習ったけど忘れてしまった人など、どなたでもご参加ください。

日程	日 時	会 場	申込期限
A	① 9月 4日 (金) 両日とも	多伎行政センター 講習室(東)	8月28日(金)
	② 11日 (金) 14:00～15:00		
B	① 9月 8日 (火) 両日とも	斐川行政センター 第2会議室	9月 1日(火)
	② 15日 (火) 10:00～11:00		
C	① 9月23日 (水) 両日とも	市役所本庁(1階) くにびき大ホール	9月16日(水)
	② 30日 (水) 19:00～20:00		

- 第1回**
- ☆聴覚障がいについて
  - ☆手話であいさつ
  - ☆名前を表現
- 第2回**
- ☆思いを手話で伝えよう
  - ☆反対語を表してみよう
  - ☆聞こえない人とのコミュニケーション方法について

※9月分を掲載。年間の日程はホームページに掲載しています。

- ◆定員/各コース20人(ただし、応募者が5人に満たない場合は開催しませんので、予めご了承ください。)
- ◆参加費/無料 ◆対象者/中学生以上
- ◆申込方法/電話、FAX、メール、窓口

おたすね/福祉推進課 ☎21-6959 FAX 21-6598  
メールアドレス fukushi@city.izumo.shimane.jp

## いずも思いやり葬儀

市は、生活保護世帯などの低所得者向けに、簡素で低廉な葬儀を行えるよう、市内葬祭事業者と「いずも思いやり葬儀に関する協定」を締結しています。「いずも思いやり葬儀」は、通夜・告別式などは行わず、病院や自宅などから直接火葬場にご遺体を運び、火葬を執り行います。

### 申込方法

下記取扱事業者の中から事業者を選び、電話等で直接お申し込みください。  
申込みの際は、「いずも思いやり葬儀を利用したい」と伝え、内容や料金について事業者から説明を受け、了解いただいたうえでお申し込みください。

#### いずも思いやり葬儀取扱事業者

事業者名	所在地	電話番号
(株) 栄 徳	平田町7675	63-3461
(株) 公 善 社	塩冶町957-5	23-6002
さがみ典 礼	渡橋町40-2	24-7890
(株) さつき祭 典	国富町888-1	62-0556
JAしまね出雲葬祭センター // 平田事務所	白枝町1156-1 平田町2308-2	23-3331(平田、斐川以外) 63-5050(平田)
JAしまね斐川典 礼センター	斐川町莊原2193-1	73-9624
(株) 中 国 葬 祭	小山町357-2	24-2333

※霊安室利用料、火葬料、火葬中の待合室利用料については別途費用がかかります。  
※利用できるのは、出雲斎場と湖西斎場のみです。

おたすね/市民課 ☎21-2315

出雲大好き♡

# Iターン女子の 職場を訪問！

その18

しむら さなえ  
志村 早苗さん

(株式会社 JR西日本  
米子メンテナンス出雲事業所)



＊出雲大好きIターン女性支援事業を活用している皆さんの働く姿を紹介します。  
今回は、平成31年4月に広島市から移住した  
志村早苗さんにインタビューしました。

## ＊移住のきっかけは何ですか？

島根県への移住を考えていた時に、広島市で開催された「しまねU・Iターンフェア」を訪れました。その際に、出雲市の就職支援相談員さんと今の勤務先の担当さんの二人が親身になって相談に乗っていただいたことがきっかけです。

## ＊仕事の内容は？

「寝台特急サンライズ出雲」のベッドメイキングと「特急やくも」の清掃をしています。お客様に喜んでいただく「快適空間」をつくりあげるよう励んでいます。

## ＊出雲の印象はどうですか？

ショッピングセンターや病院等、生活に必要なものがそろっていて、住みやすい街だと感じています。出雲に来てから、素敵な出会いもあり、大好きな街です。

## ＊出雲事業所 所長 嘉本光晴さん（写真左端）にお聞きしました

志村さんは、非常に前向きで、勉強熱心な女性です。何事にも一生懸命取り組んでいただいています。また、女性職員8名のまとめ役としてもリーダーシップを発揮するなど、とても頼りがいのある人です。今後もこの調子で頑張っていただきたいです。

取材中に「出雲人になります！」と頼もしく宣言された志村さん。今後の出雲での活躍を応援します。



職場の皆さんと談笑する志村さん（右端）

出雲大好きIターン女子のブログを「いずも暮らし」で公開中！  
<http://izumonakurashi.jp/blog.html>

おたすね／縁結び定住課 ☎21-6629

出雲市には80名ほどの「子育てサポーター」がいます。「子育てサポーター」というのはその名の通りで、子育て中のお父さん、お母さんに寄り添い、一緒に子育てを楽しみます。私たちは子育てに関しての専門家ではありませんが、若いお父さん、お母さんたちのちょっとした先輩といったところです。

子育てサポーターが、子育て中のお父さん、お母さんに寄り添う機会はたくさんあります。出産されて少しづつ子育てに慣れつつある生後2か月から4か月の頃に、「あかちゃん声かけ訪問」をします。この活動は子育てサポーターだけでなく、民生委員児童委員、主任児童委員と協力しながら行っています。

玄関先でのわずかな時間の訪問ですが、子育ての様子を聞いたり、出雲市からの子育て情報、地域での子育て広場のご案内をしたりして、

## 一緒に子育てを楽しみます



子どもたちが明るく元気に育つのを  
見ると、未来に希望を感じます。  
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人も、「えがおになあれ」…そんな願いを  
込めて、このコープを設けました。  
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

地域で見守る人たちがいることを  
伝えていきます。

そのほかに、出雲市の乳幼児集団健診会場での受付や託児、子育て支援センターでの見守り、地域のコミュニティセンターでの子育て広場の開設など、出会う場面はたくさんあります。子育ては家庭だけでなく社会全体で見守り支えあうものです。地域で子どもたちの成長を共に喜び、子どもたち、お父さんとお母さんを笑顔にできる存在になれるよう、私たちはいつでも笑顔で待っています。

(執筆：出雲市子育てサポーター連絡協議会)



月に2回、コミュニティセンターで開催する子育て広場には、地域のボランティアスタッフも参加してにぎやかです。スタッフのことを「おばあちゃん」と呼んでくれますよ。

おたすね／子ども政策課  
子ども家庭相談室 ☎6604